

SDIC一覧表(A-072) 血糖降下剤一覧表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覧表(A-028)インスリン製剤一覧をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名)	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考		
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る														1回回数 (服用時点)	用量 (1日量)			
					食事・運動療法に加えて下記を使用																		
2型糖尿病	2型糖尿病 食後血糖推移の改善	糖尿病の食後過血糖の改善	耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制	食事・運動療法のみ	SU剤	BG系薬剤	αGI	TZD系薬剤	経口血糖降下剤	インスリン製剤	持効型溶解インスリン	中間型インスリン	BGU系薬剤+	TZDU系薬剤+	TZDG系薬剤+	持効型溶解インスリン+	SU剤+インスリン	SU剤+インスリン	【初回】: 初回投与量 【最高】: 最高投与量				
スルホニルウレア系薬剤(SU剤)	ヘキストラステノン (サノフィ) 販売中止	トルブタミド	錠:500mg 散:100%	×	○															1回(朝食前又は後)又は2回(朝夕食前又は後)	0.5~1g 【最高】2g		
	ジメリン (塩野義)	アセトヘキサミド	錠:250mg, 500mg	×	○															1回(朝食前又は後)又は2回(朝夕食前又は後)	250mg 【最高】1000mg		
	デアメリンS (杏林)	グリクロピラミド	錠:250mg	×	○															1回(朝食前又は後)又は2回(朝夕食前又は後)	125~250mg 【最高】500mg		
	アベマイド (小林化工)	クロルプロバミド	錠:250mg	×	○															1回 (朝食前又は後)	100~125mg 【最高】500mg		
	オイグルコン (中外)	グリベンクラミド	錠:1.25mg, 2.5mg	○	○															1回(朝食前又は後)又は2回(朝夕食前又は後)	1.25~2.5mg 【最高】10mg		
	ダオニール (サノフィ)																						
	グリミクロン (大日本住友)	グリクラジド	錠:40mg		○															1回(朝食前又は後)又は2回(朝夕食前又は後)	40~120mg 【初回】40mg 【最高】160mg		
	グリミクロンHA (大日本住友)		錠:20mg		○																		
	アマリール (サノフィ)	グリメピリド	錠:0.5mg, 1mg, 3mg OD錠:0.5mg, 1mg, 3mg	○	○																1回(朝食前又は後)又は2回(朝夕食前又は後)	1~4mg 【初回】0.5~1mg 【最高】6mg	
	速効型インスリン	ファスティック (味の素-持田)	ナテグリニド	錠:30mg, 90mg	○	○															3回 (食直前)	270mg 【最高】360mg	
スターシス (アステラス)																							
グルファスト (キッセイ=武田)		ミチグリニド カルシウム水和物	錠:5mg, 10mg	×	○															3回 (食直前)	30mg		
	シュアポスト (大日本住友)	レパグリニド	錠:0.25mg, 0.5mg	×	○															3回 (食直前)	0.75~1.5mg 【初回】0.75mg 【最高】3mg		
ビグアナイド系薬剤	グリコラン (日本新薬)	メトホルミン 塩酸塩	錠:250mg	○	○															2~3回 (食後)	500mg 【初回】500mg 【最高】750mg		
	メトグルコ (大日本住友)		錠:250mg, 500mg	○	○															2~3回 (食直前又は後)	《成人》 750~1500mg 【初回】500mg 【最高】2250mg 《10歳以上の小児》 500~1500mg 【初回】500mg 【最高】2000mg	高用量製剤	
	【後】ジベトス (日医工)	ブホルミン 塩酸塩	錠:50mg	○	○															2~3回 (食後)	100mg 【初回】100mg 【最高】150mg	他社に腸溶錠あり (後発品)	

SDIC一覽表(A-072) 血糖降下剤一覽表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覽表(A-028)インスリン製剤一覽表をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名)	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考						
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る														1日回数 (服用時点)	用量 (1日量)							
					食事・運動療法に加えて下記を使用																						
	【後】: 診療報酬上の 後発医薬品				2 型 糖 尿 病	2 食 後 糖 尿 病 に お け る 改 善	糖 尿 病 の 食 後 過 血 糖 の 改 善	耐 2 型 糖 尿 病 の 発 症 抑 制	食 事 ・ 運 動 療 法 の み	S U 剤	B G 系 薬 剤	α G I	T Z D 系 薬 剤	経 口 血 糖 降 下 剤	イン ス リン 製 剤	持 効 型 溶 解 イン ス リン	中 間 型 イン ス リン	B S U 系 薬 剤 +	T Z D 系 薬 剤 +	T Z D 系 薬 剤 +	B G 系 薬 剤 +	持 効 型 溶 解 イン ス リン +	S U 剤 +	S U 剤 +	1 日 回 数 (服 用 時 点)	用 量 (1 日 量)	
		【初回】: 初回投与量 【最高】: 最高投与量																									

※1: 添付文書上の効能効果は「インスリン非依存型糖尿病(ただし、SU剤が効果不十分な場合あるいは副作用等により使用不適当な場合に限る)」であるが、重要な基本的注意の欄に、「食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り考慮すること」と記載があるため、こちらに記載した

(α1セグ阻害剤)	ゲルコバイ (バイエル -富士フィルム)	アカルボース	錠: 50mg, 100mg OD錠: 50mg, 100mg	○			○							○	○											3回 (食直前)	300mg ^{※2}		
	ベイスン (武田)	ボグリボース	錠: 0.2mg, 0.3mg OD錠: 0.2mg, 0.3mg	○			○	○ ^{※3}						○	○											3回 (食直前)	0.6mg 【最高】0.9mg ^{※4}		
	セイブル (三和化学)	ミグリトール	錠: 25mg, 50mg, 75mg OD錠: 50mg, 75mg	×			○		○	○					○											3回 (食直前)	150mg 【最高】225mg	OD錠は2015年5月収載	
(TZD系薬剤)	チアゾリジン (武田)	ビオグリタゾン 塩酸塩	錠: 15mg, 30mg OD錠: 15mg, 30mg	○	○ ^{※5}				○	○	○	○		○												1回 (朝食前又は後)	15~30mg 【最高】45mg 《インスリンと併用する場合》 15mg 【最高】30mg		
DPP-4 阻害剤	グラクティブ(小野薬品)	シタグリプチン リン酸塩水和物	錠: 12.5mg, 25mg, 50mg, 100mg	×	○																					1回	50mg 【最高】100mg	2013年8月より25mg錠は 割線錠(長円形)に変更され た。従来の割線なしの 25mg錠(円形)は在庫尽き 次第中止。	
	ジャヌビア(MSD)																												
	エクア (ノバルティス)	ビルダグリプチン	錠: 50mg	×	○																					2回 ^{※6} (朝夕)	100mg ^{※6}		
	ネシーナ (武田)	アログリプチン 安息香酸塩	錠: 6.25mg, 12.5mg, 25mg	×	○																					1回	25mg		
	トラゼンタ (ベーリンガー)	リナグリプチン	錠: 5mg	×	○																					1回	5mg		
	テネリア (第一三共)	テネリグリプチン 臭化水素酸塩水和物	錠: 20mg	×	○																					1回	20mg 【最高】40mg		
	スイニー (三和化学=興和創薬)	アナグリプチン	錠: 100mg	×	○																					2回(朝夕)	200mg 【最高】400mg		
オングリザ (協和発酵キリン)	サキサグリプチン 水和物	錠: 2.5mg, 5mg	×	○																					1回	5mg ^{※7}			
ザファテック (武田)	トララグリプチン コハク酸塩	錠: 50mg, 100mg	×	○																					週に1回	100mg	2015年5月収載		

SDIC一覧表(A-072) 血糖降下剤一覧表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覧表(A-028)インスリン製剤一覧をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名) 【後】:診療報酬上の 後発医薬品	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果																	用法用量		備考					
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る																	1日回数 (服用時点)	用量 (1日量) 【初回】:初回投与量 【最高】:最高投与量						
					食事・運動療法に加えて下記を使用																								
					2 型 糖 尿 病	2 食 後 糖 尿 病 の 推 移 の 改 善	糖 尿 病 の 食 後 過 血 糖 の 改 善	耐 2 型 糖 尿 病 の 発 症 抑 制	食 事・ 運 動 療 法 の み	S U 剤	B G 系 薬 剤	α G I	T Z D 系 薬 剤	経 口 血 糖 降 下 剤	イン ス リン 製 剤	持 効 型 溶 解 イン ス リン	中 間 型 イン ス リン	B S U 系 薬 剤 +	T Z D 系 薬 剤 +	T Z D 系 薬 剤 +	B G 系 薬 剤 +				持 効 型 溶 解 イン ス リン	S U 剤 +	中 間 型 イン ス リン		
	マリゼブ (MSD)	オマリグリブチン	錠:12.5mg, 25mg	×	○																					併用薬剤等の条件の記載なし	週に1回	25mg	2015年11月収載

※2:1日150mgより開始し、忍容性を確認したうえで1日300mgに増量することもできる ※3:錠0.2mg、OD錠0.2mgのみ ※4:糖尿病の食後過血糖の改善に使用する場合のみ
 ※5:インスリン抵抗性が推定される場合に限る ※6:患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与することができる ※7:患者の状態に応じて2.5mgを1日1回経口投与することができる

S G L T 2 阻 害 剤	スーグラ (アステラス)	イブラグリフロジン L-プロリン	錠:25mg, 50mg	×	○																					併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	50mg 【最高】100mg	国内初のSGLT2阻害剤 2014年4月収載		
	フォシーガ (アストラゼネカ -小野薬品)	ダバグリフロジン プロピレングリコール	錠:5mg, 10mg	×	○																						併用薬剤等の条件の記載なし	1回	5mg 【最高】10mg	2014年5月収載	
	ルセフィ (大正製薬-大正富山、 ノバルティス)	ルセオグリフロジン 水和物	錠:2.5mg, 5mg	×	○																							併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	2.5mg 【最高】5mg	2014年5月収載
	アブルウェイ (サノフィ)	トホグリフロジン 水和物	錠:20mg	×	○																							併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	20mg	2014年5月収載
	デベルザ (興和-興和創薬)																														
	カナグル (田辺三菱)	カナグリフロジン 水和物	錠:100mg	×	○																							併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	100mg	2014年9月収載
ジャディアンス (ペーリンガー)	エンパグリフロジン	錠:10mg, 25mg	×	○																							併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝食前又は後)	10mg 【最高】25mg	2015年2月収載	
A n a l o g l i c e 製 剤	ピクターザ (ノボ ノルディスク)	リラグルチド (遺伝子組換え)	皮下注:18mg (ペン型注入器)	×	○																						併用薬剤等の条件の記載なし	1回 (朝又は夕に皮下注)	0.9mg 【初回】0.3mg ^{※8} 【最高】0.9mg	ダイヤルにより1回の注入 量を設定する(0.3mg、 0.6mg、0.9mg) 要注射針 ^{※9}	
	バイエッタ (アストラゼネカ)	エキセナチド	皮下注: 5μgペン300, 10μgペン300	×	○																							2回 (朝夕食前に皮下注)	10μg ^{※10}	一定量を注入するペン型 注入器 要注射針 ^{※9}	
	ピデュリオン (アストラゼネカ)		皮下注用: 2mg(シリンジ), 2mgペン	×	○																							週に1回 (皮下注)	2mg	バイエッタの徐放化製剤 注射針は付属のものを用 いる 皮下注用2mgペンは2015 年5月収載	
	リクスマリア (サノフィ)	リキシセナチド	皮下注:300μg (ペン型注入器)	×	○																							1回 (朝食前に皮下注)	20μg 【初回】10μg ^{※11} 【最高】20μg	ダイヤルにより1回の注入 量を設定する(10μg、 15μg、20μg) 要注射針 ^{※9}	

SDIC一覽表(A-072) 血糖降下剤一覽表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覽表(A-028)インスリン製剤一覽をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名) 【後】:診療報酬上の 後発医薬品	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考				
					2 型 糖 尿 病	2 食 後 糖 尿 病 推 移 の 改 善	糖 尿 病 の 食 後 過 血 糖 の 改 善	耐 2 型 糖 尿 病 の 発 症 抑 制	食 事 ・ 運 動 療 法 の み	ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る										1日回数 (服用時点)		用量 (1日量) 【初回】:初回投与量 【最高】:最高投与量			
										S U 剤	B G 系 薬 剤	α G I	T Z D 系 薬 剤	経 口 血 糖 降 下 剤	イ ン ス リ ン 製 剤	持 効 型 溶 解 イ ン ス リ ン	中 間 型 イ ン ス リ ン	B S U 剤 薬 剤 +	T Z U 剤 系 薬 剤 +				T Z D 系 薬 剤 +	B G 系 薬 剤 +	持 効 型 溶 解 イ ン ス リ ン
	トルリシテイ (イーライリリー -大日本住友)	デュラグルチド (遺伝子組換え)	皮下注: 0.75mgアテオス (ペン型注入器)	×	○																	併用薬剤等の条件の記載なし	週に1回 (皮下注)	0.75mg	1回分の薬液が充填された 注射針付きシリンジを注入 器にセットしたキット製剤 2015年8月収載

※8:1日1回0.3mgから開始し、1週間以上の間隔で0.3mgずつ増量する
 ※9:JIS T 3226-2に準拠したA型専用注射針を用いて使用する(ペンニードル、ナノパスニードルなど)
 ※10:投与開始から1ヵ月以上の経過観察後、患者の状態に応じて1日20μgに増量できる
 ※11:1日1回10μgから開始し、1週間以上投与した後1日1回15μgに増量し、1週間以上投与した後1日1回20μgに増量する

SDIC一覧表(A-072) 血糖降下剤一覧表

2016年1月5日 スズケン医療情報室(SDIC東京)作成

- ◆本資料にはインスリン製剤は含まれておりません。インスリン製剤についてはSDIC一覧表(A-028)インスリン製剤一覧をご参照ください。
- ◆各項目は類似する表現をまとめて簡略化していますので、最終的には添付文書等で確認してください。
- ◆会社名は、2社以上をハイフン(-)で結んで表記している場合、先頭が製造会社、それ以降は販売会社であることを示しています。イコール(=)で結んで表記している場合、両者の並売であることを示しています。

【今回の主な変更点】スイニーの効能追加を反映(すべての経口血糖降下薬およびインスリンと併用療法が可能になった)

分類	商品名 (会社名)	一般名	剤形・規格	後発品の有無	効能効果														用法用量		備考			
					ただし、以下のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る														1日回数 (服用時点)	用量 (1日量)				
					食事・運動療法に加えて下記を使用																			
					2 型 糖 尿 病	2 型 食 後 血 糖 推 移 の 改 善	糖 尿 病 の 食 後 過 血 糖 の 改 善	耐 2 型 糖 尿 病 の 発 症 抑 制	食 事 ・ 運 動 療 法 の み	S U 剤	B G 系 薬 剤	α G I	T Z D 系 薬 剤	経 口 血 糖 降 下 剤	イン ス リン 製 剤	持 効 型 溶 解 イン ス リン	中 間 型 イン ス リン	B S U 系 薬 剤 +	T Z U 系 薬 剤 +	T Z D 系 薬 剤 +		B G 系 薬 剤 +	持 効 型 溶 解 イン ス リン	S U 剤 +
配合剤	メタクト (武田)	①ピオグリタゾン 塩酸塩 ②メトホルミン 塩酸塩	配合錠LD: ①15mg ②500mg 配合錠HD: ①30mg ②500mg	×	○ ※12																	1回 (朝食後)	1錠[①15mg/②500mg又は ①30mg/②500mg]	(配合成分の代表的な商品名) アクトス +グリコラン、メトグルコ
	ソニアス (武田)	①ピオグリタゾン 塩酸塩 ②グリメピリド	配合錠LD: ①15mg ②1mg 配合錠HD: ①30mg ②3mg	×	○ ※12																	1回 (朝食前又は後)	1錠[①15mg/②1mg又は ①30mg/②3mg]	(配合成分の代表的な商品名) アクトス +アマリール
	ゲルベス (キッセイ)	①ミチグリニド カルシウム水和物 ②ボグリボース	配合錠: ①10mg ②0.2mg	×	○ ※12																	3回 (食直前)	3錠[①30mg/②0.6mg]	(配合成分の代表的な商品名) ゲルファスト +ベイスン
	リオベル (武田)	①アログリプチン 安息香酸塩 ②ピオグリタゾン 塩酸塩	配合錠LD: ①25mg ②15mg 配合錠HD: ①25mg ②30mg	×	○ ※12																	1回 (朝食前又は後)	1錠[①25mg/②15mg又は ①25mg/②30mg]	(配合成分の代表的な商品名) ネシーナ +アクトス
	エクメット (ノバルティス)	①ビルダグリプチン ②メトホルミン塩酸塩	配合錠LD: ①50mg ②250mg 配合錠HD: ①50mg ②500mg	×	○ ※12																	2回 (朝夕)	2錠[①100mg/②500mg又は ①100mg/②1000mg]	2015年11月掲載 (配合成分の代表的な商品名) エクア +グリコラン、メトグルコ

※12: 配合成分の併用による治療が適切と判断される場合に限る